



令和3年度「全国学力・学習状況調査」の本校の結果について

校長 田 中 孝 二

1 調査結果の活用

5月27日に3年生を対象に行った「全国学力・学習状況調査」の結果をまとめました。その中で、「教科に関する調査」と「生徒質問紙」の結果から読み取れる本校生徒の傾向（全道・全国を上（下）回った主な設問・質問）等についてお知らせいたします。

なお、今回の調査結果の分析から課題を明確にし、第3学年のみならず、他の学年の教科や総合的な学習の時間、特別活動等の指導の改善に生かしていきたいと考えています。今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

2 本校の結果の全道・全国平均との差の示し方について

次のとおり、町内で統一した基準により、本校の国語・数学の平均正答率を全道・全国の平均正答率と比較して5段階で表しています。

「高い」：5ポイント以上 「やや高い」：3ポイント以上5ポイント未満 「同様」：±3ポイント
「やや低い」：-3ポイント以下-5ポイント未満 「低い」：-5ポイント以下

3 「教科に関する調査」と「生徒質問紙」の結果

国語の結果

1 全14問の平均正答率の全道・全国平均との差

⇒ 本校の平均正答率は、全道・全国平均より、やや低い結果となりました。

2 全道・全国を上回った主な設問

- 話合いの話題や方向を捉える
- 話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える
- 文脈に即して漢字を正しく読む（「詳細」という漢字）
- 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く

3 全道・全国を下回った主な設問

- 質問の意図を捉える
- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する
- 相手や場に応じて敬語を適切に使う

4 分析と今後の取組等

(1) 国語の授業において

- ・領域別では、「話すこと・聞くこと」に関する設問の平均正答率が、全道・全国と同様であり、引き続き、対話的なグループ活動等により、学習内容の定着に取り組んでいく。
- ・「書くこと」に関する設問の平均正答率は、全道・全国と同様であり、引き続き、単元内における作文活動での表現力等の向上に取り組んでいく。
- ・「読むこと」に関する設問の平均正答率は、全道・全国よりやや低く、見方・考え方を働かせた主体的な読解の交流活動に取り組んでいく。

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する設問の平均正答率は、全道・全国より低いことから、読書の励行や漢字の知識向上による語彙の習得に取り組んでいく。

(2) 他の教科等において

・ノートへの記述やレポートの作成などにおいて、漢字を適切かつ正確に使用するよう指導するとともに、相手に伝わる表現となるよう全教職員での指導の充実を図る。

数学の結果

1 全16問の平均正答率の全道・全国平均との差

⇒ 本校の平均正答率は、全道・全国平均より、低い結果となりました。

2 全道・全国を上回った主な設問

- 経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する
- 与えられたデータ（反復横とびの記録）から中央値を求めることができる
- 相対度数の必要性和意味を理解している（この設問では、全道を上回り、全国とは同じ）
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる

3 全道・全国を下回った主な設問

- 整式の加法と減法の計算ができる（ $(5x+6y) - (3x-2y)$ の計算）
- 具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる
- 扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる

4 分析と今後の取組等

(1) 数学の授業において

- ・領域別では、「資料の活用」に関する設問の平均正答率が、全道・全国と同様であり、引き続き、情報を図やグラフに整理したり、根拠を示して説明したりする活動に取り組んでいく。
- ・「数と式」「図形」「関数」に関する設問の平均正答率は、全道・全国より低いことから、例えば「数と式」においては、文字式を活用して数の特徴や法則性を説明する活動等に取り組んでいく。

(2) 他の教科等において

- ・表やグラフの読み取りなどにおいて、個に応じた丁寧な指導を行うとともに、表やグラフ等を使って表現する活動を取り入れ実感を伴った理解を促すよう全教職員での指導の充実を図る。

生徒質問紙の結果

（「当てはまる」「どちらかと言えばあてはまる」という肯定的な回答について、全道・全国と比較）

1 全道・全国を上回った主な質問

- 「将来の夢や目標を持っていますか」：全道より高く、全国よりやや高い
- 「人が困っているときは進んで助けていますか」：全道・全国より高い
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」：全道・全国より高い
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」：全道・全国より高い

2 全道・全国を下回った主な質問

- 「自分には、よいところがあると思いますか」：全道・全国より低い
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」：全道・全国より低い
- 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」：全道・全国より低い

3 今後の取組等

- ・全教育活動において、生徒のよさや可能性を認め、励ます指導を継続していくとともに、学びに向かう力・人間性等の育成を図る授業改善を行っていく必要がある。